

宣教支援センターだより
2022年5月号

高須教会は5月22日の定期総会で、短期5年・中期10年の将来計画を決議しようとしています。久山療育園と共に歩んできた30年の歴史から、「社会的弱者に寄り添う」という教会の矢印を明確にしています。キリストは他者を愛したために十字架に架けられました。それにならう者になりたいという高須教会の姿勢に、私の方が学ばされています。

■バプテスト教会の世界

その2 キリストがすべて

パウロはフィリピの信徒への手紙1章21節で、「わたしにとって、生きることはキリストであり、死ぬことは利益なのです」と語ります。

パウロはキリスト者を迫害するためにダマスコに向かう道すがら、復活の主に出会いました。アナニヤの手引きもあり、使徒の務めを担う者へと180度方向転換させられた経験の持ち主です。

彼にとっての生きる意味は、フィリピの教会に益をもたらすことであり、他者にキリストの愛を指し示すことでした。

フィリピの信徒への手紙は「喜びの手紙」と言われますが、パウロ自身はきわめて困難の状況の下で書いた手紙です。

他者のことを愛し、他者のために行動することには、痛みが伴います。

「私のいのちを取り去ってください」と言いたくなるような状況において、イエスは三度も祈りました。祈りは聴かれ

ませんでした。そのことでもっと大きなものが示されました。それは主が共にいてくださるという事実です。

主が私を生かしてくださる平安は、何人たりとも奪うことのできない恵みです。この世には悲しみや痛みがあります。けれどもキリストと共にある喜びは、それらをはるかに上回るものなのです。

主と共に生きる。この親しい関係性は、死によって滅ぼされることがありません。それゆえに、信じる者に約束されている「永遠のいのち」そのものなのです。

■今月の予定

1日(日) シオン山教会礼拝出席

8日(日) 直方教会礼拝出席

9日(月) 地方連合連絡協議会陪席
(オンライン、10日迄)

15日(日) 福岡西部教会礼拝出席

16日(月) 北九州地区教誨師会総会

21日(土) 愛生幼稚園理事会

22日(日) 高須教会礼拝出席

24日(火) センター調整会議

29日(日) 小倉教会礼拝出席

■編集後記

富野教会・小倉教会・小倉春ヶ丘教会による第4回桜まつりが、3月27日の主日礼拝後に、富野教会で開かれました。

交換講壇による各教会での礼拝の後、約60名が富野教会に集合し、感染予防に努めながら、特別賛美に耳を傾けたり、ビンゴ大会をしたりして、楽しいひとときを過ごしたそうです。次回は苅田教会をお誘いすると伺いました。地域協働の輪が広がりつつあります。(齊藤弘司)